

## カジノビジネス生活者調査 第二回 速報

東京お台場にカジノができた場合、年間来場客数見込みは1447万人。

関東地方からの来場者が47%、他地区からの来場者が53%を占める。

現在日本では、都市型複合観光施設としてカジノの開設に関心が高まってきており、政党でも合法化へ向けた推進議員連盟が設立され、国会での議員立法の提出も想定されています。

こうした動きに対し、博報堂カジノ・エンタテインメントビジネスプロジェクトでは、生活者のカジノに対する意識と実態を明らかにするために定期的に調査を行なっています。今回9月上旬に、本年3月後半に次いで2回目の調査を実施。その速報がまとまりましたのでご紹介致します。

今回の調査ではカジノ合法化に対する賛否だけではなく、賛成者に対しては期待する効果、反対者に対しては不正防止などのための制度・施策が導入された場合の意識変化など、より具体的な意識を明らかにしていくことを目的としています。

そして全国のカジノ構想地の商圈の概要や利用形態、消費動向など、今後議論を進めていく上で必要な具体的な数値を明らかにし、各地のカジノ計画が事業としてどのようなポテンシャルがあるかも調べました。

また、全国20-60代の男女合わせて5293名（有効回収）に対して実査し、さらに人口分布に応じた集計も行なうことによって、人口分布に対応した偏りの少ない分析となっています。

この結果、カジノに対する期待の高さが明らかになりました。全国で91.3%と大半の人が合法化の動きがあることについて「知っている」と答えました。合法化に対する賛否では49.1%が賛成とし、反対の23.3%を大きく上回っています。

また、カジノ設置による悪影響を防止するためのチェック機関の設置などの制度や施策を導入することを前提とした場合、賛成は66.5%と大きく向上することも明らかになりました。カジノを合法化している多くの国で実施されているこうした悪影響防止の制度・施策について、議論を深めていく必要があります。

カジノ合法化賛成の理由としては「税収増加」「経済効果」「地域活性化」といった理由が多くあげられています。合法化の議論にあたっては、こうした経済面への期待とカジノの波及効果をどう結びつけるかも焦点となりそうです。

来場意向度、来場意向回数をベースとした年間来場客数の試算では、お台場地区で年間延べ1447万人となりました。約半数の47.2%が関東地区からの来場者で、残りが中部・近畿・東北を中心とする全国各地からの来場者と見込まれます。

また、各カジノ構想地は来場者の地域構成から、1.全国区型 2.東京奥座敷型 3.リゾート型 4.地元密着型の4つのタイプにわかれることもわかりました。

## ■博報堂カジノ・エンタテインメントビジネスプロジェクトとは

現在日本でも合法化に向けて議論されているカジノビジネスについて、生活者視点に立った調査をもとに、ビジネスモデルを検討する研究会です。日本におけるカジノビジネス実現に向けた、調査分析、情報発信、コンサルティング、カジノを含めた地域振興策の計画・推進を関係企業と協働で行ないます。

<本件に関するお問い合わせ>

博報堂	広報室	宮川・西村	Tel 03-5446-6161
	第4ストラテジックプランニング局	島野	Tel 03-5446-8162

# <調査結果>

## <調査概要>

調査対象：日本全国の20-60代の男女 合計5293人  
 調査手法：インターネット調査  
 調査時期：2003年9月

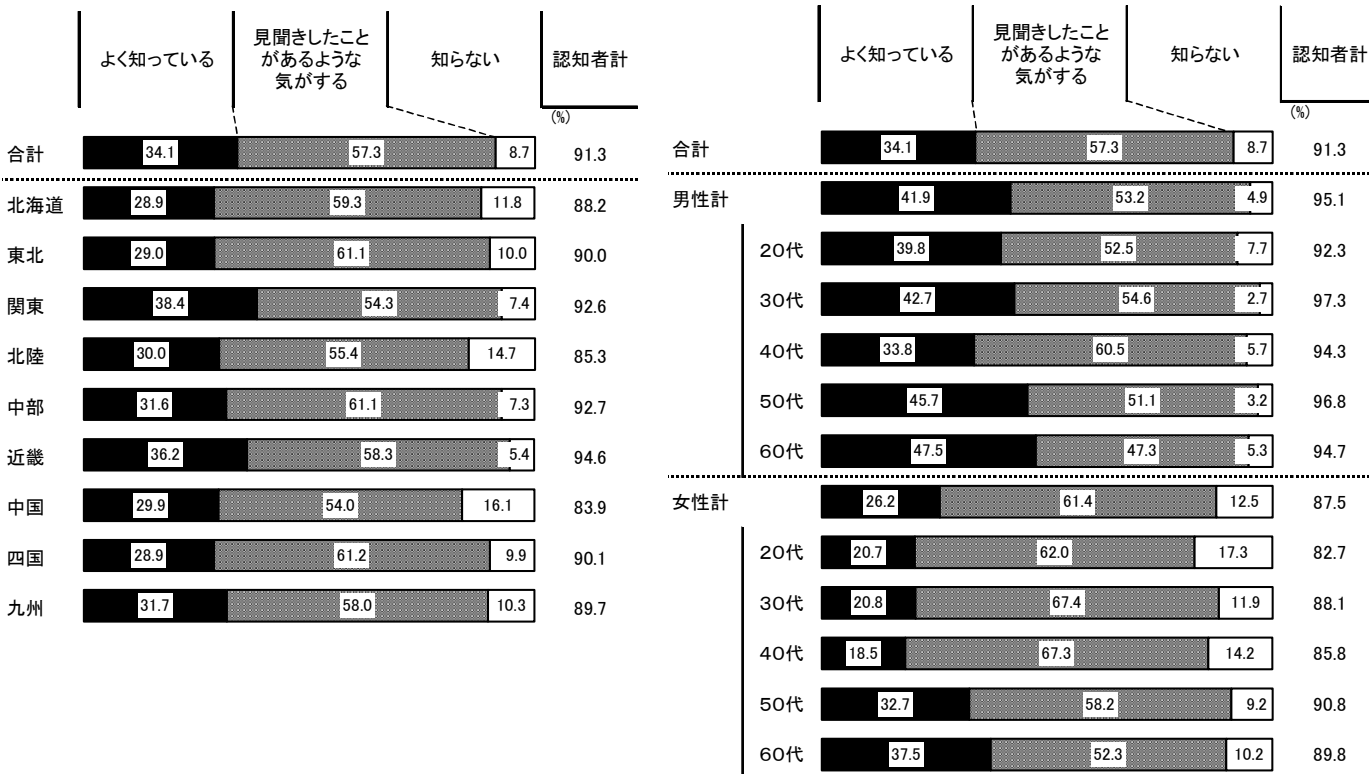
### ■カジノ合法化の動きは、91.3%が認知。全国的にカジノの合法化に対する関心は高い。

日本におけるカジノの合法化に対しては、全国ベースで91.3%と非常に多くの人何らかのかたちで見聞きしたことがあると回答しました。非常に大きな関心を持たれているといえます。

地域別では、関東・近畿といった都市圏で認知が高く、北陸・中国で若干低い傾向があります。しかし、全国各地域で総じて80%以上の認知を得ており、日本におけるカジノ合法化議論は、地域を問わず高い関心を得ているといえます。

男女別では男性に比べ、女性で認知が低くなっています。特に女性20-40代では「よく知っている」とする人の割合が他の性年代に比べ低くなっています。今後カジノに関する国民的な議論を深めていくためには、これらの層に対してもより情報が伝わるようにしていく必要があるといえます。

Q. 最近日本でも、法律を改正してカジノを合法化した上で、海外にあるようなカジノを設置しようという動きがあります。あなたは、このことをどの程度ご存知ですか。



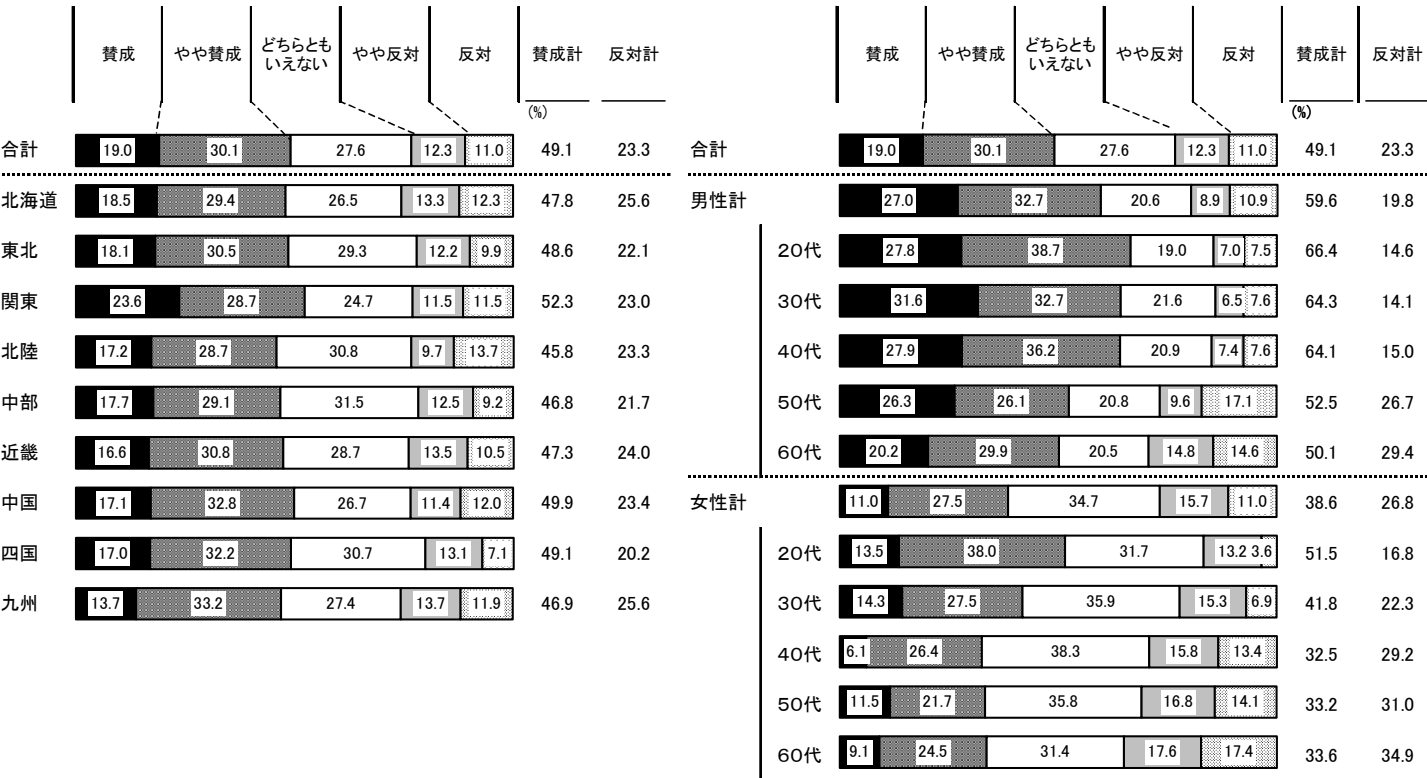
### ■カジノ合法化に対しては49.1%が賛成。男性20-40代が高い傾向。

日本におけるカジノの合法化に対しては、全国ベースで49.1%賛成、反対が23.3%と、賛成が大きく上回っています。

地域別では関東が賛成52.3%とやや高いですが、各地で大きな差はありません。

性年代別では20-40代男性の賛成率が高く、20代男性では66.4%が賛成と答えています。一方、女性は20代では51.5%が賛成としていますが、男性に比べ全体的に低い賛成率となっています。

Q. 最近日本でも、法律を改正してカジノを合法化した上で、海外にあるようなカジノを設置しようという動きがあります。あなたは、このことをどのように感じになりますか。



■不正防止制度・施策等が実施されるという条件付では、66.5%が合法化に賛成。

カジノ合法化に対する非許容者（カジノの合法化について、「どちらともいえない」「やや反対」「反対」とした人）に対してさらに、悪影響防止のための制度・施策が実施されると想定した場合に意識が変化するかを聞いてみました。（カジノを合法としている多くの国で実施されている代表的な制度・施策を提示し質問しています）

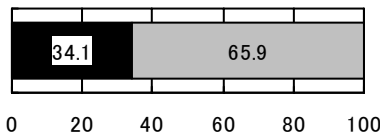
その結果、非許容者のうち34.1%が合法化を許容すると答えました。当初からの賛成者と合わせると、悪影響防止のための条件付であれば、全体で66.5%がカジノ設置に賛成といえます。

Q. 【日本でのカジノ合法化、設置の動きに「どちらともいえない」「やや反対」「反対」とお答えの方にお伺いします】下記のような制度、施策が確実に実施された場合、あなたのカジノの合法化に対する意識は変化しますか。

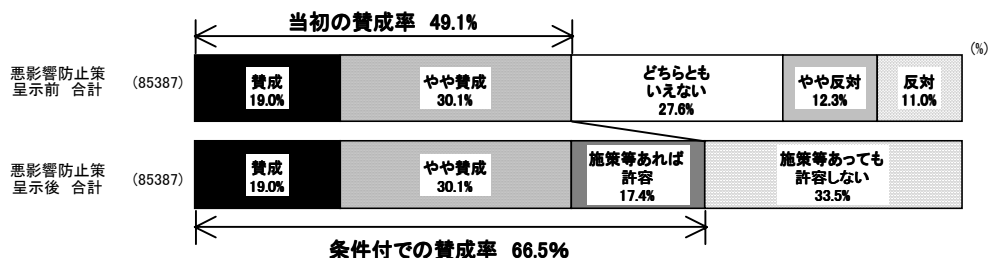
予想される制度、施策

1. カジノの運営組織とは別個に、国も関与するチェック機関が設立され、不正を厳しくチェックする。
2. 治安や周辺環境を悪化させないために、防犯カメラの設置や警備員の配置などを行う。
3. 不正防止のため、カジノ内の監視カメラの設置や、従業員のダブルチェック体制などを行う。
4. 犯罪組織の人や、関係が近い人がカジノ経営組織の関係者（従業員や取引先など）になることを認めない。
5. 不正な資金の流れを防止するため、お金の流れをオープンにし誰でも監視できる体制とする。
6. 学校や病院など公共性の高い施設の近所には設置を認めない。
7. 入場時に年齢制限（20歳以上のみ入場可など）を厳格に運用する。
8. カジノ依存症の人に対するカウンセリングや、入場回数や累積金額など来場者の利用状況によっては入場禁止措置をとるなど、カジノ中毒者ができるだけ増えない仕組みを設ける。

カジノ合法化に対する非許容者に対して、上記の条件を提示下上で質問。



- 制度などが実行されれば合法化を許容
- 制度などが実行されても、合法化を許容しない



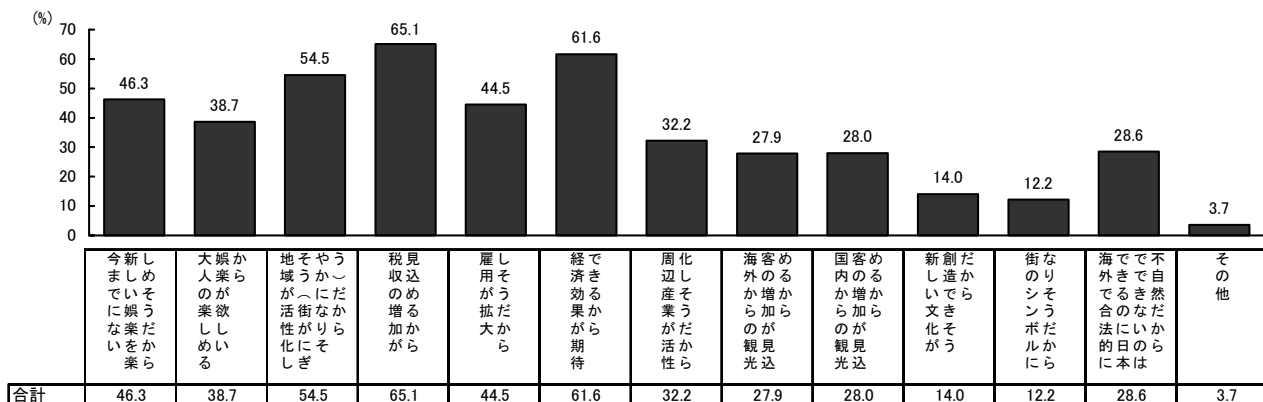
■カジノに対しては「**税収増加**」「**経済効果**」「**地域活性**」を中心として期待が高い。

カジノ合法化に賛成と答えた人に対して、賛成の理由を聞いてみました。

その結果、賛成理由としては、「**税収の増加が見込めるから**」が65.1%、「**経済効果が期待できるから**」が61.6%と、経済面での要因が高く評価されました。次いで「**地域が活性化しそうだから**：54.5%」、「**今までにない、新しい娯楽を楽しめそうだから**：46.3%」となっています。カジノ合法化議論の際には、生活者のカジノに対するこうした期待をどのように活かしていくのか検討していく必要性がありそうです。

Q. 【日本でのカジノ合法化、設置の動きに「やや賛成」「賛成」とお答えの方にお伺いします】

では、あなたが、「やや賛成」「賛成」とお答えになられた理由についてあなたのお気持ちにあてはまるものすべてをお選びください。

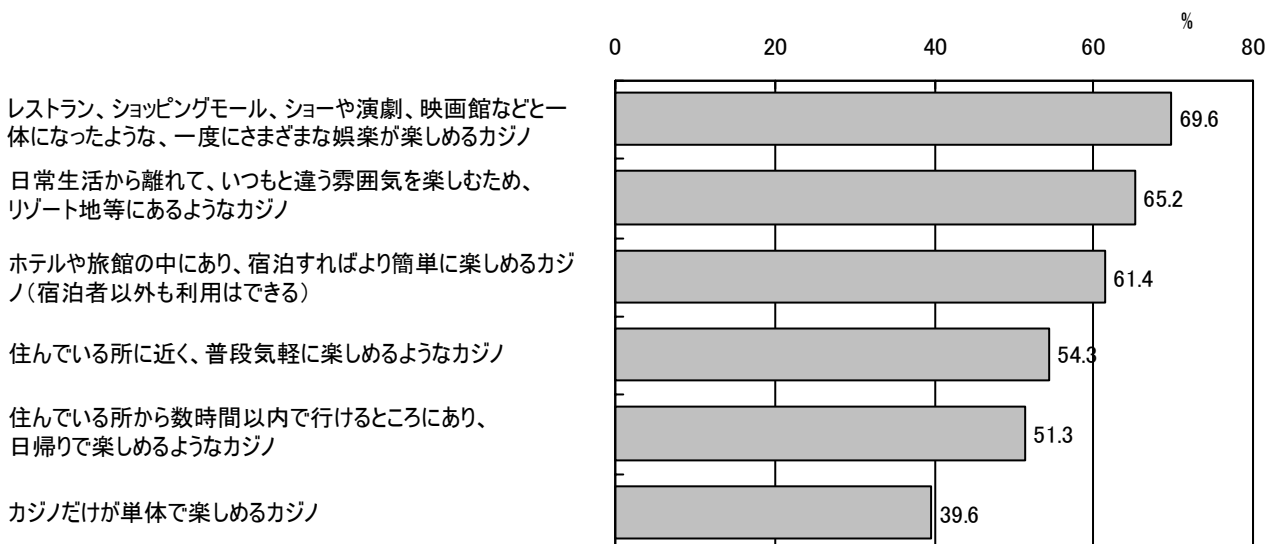


■一度にさまざまな娯楽が楽しめる「**複合型カジノ**」が人気。

カジノが合法化された場合、様々なタイプのカジノが検討されることが想定されます。その中で代表的なタイプについて、利用意向を聞いてみました。

その結果、タイプ別による利用意向度では、「**レストランやショッピングモール、ショーや演劇、映画などと一体になったような、一度にさまざまな娯楽が楽しめる複合娯楽型のカジノ**」が最も高い支持を得ました。カジノだけが単体で楽しめるカジノに比べ高い評価を得ています。生活者の高い支持を得ていくためには、カジノ単体としての魅力に加え、様々な娯楽を組み合わせることで複合的な魅力を高めていく必要があります。

Q. カジノが日本で合法化された後、設置が考えられているカジノにはさまざまなタイプがあります。それぞれのカジノについて、あなたはどの程度行ってみたいと思いますか。



■エリア別の認知、利用意向では、お台場(東京都)が高いスコア。全国から認知、利用意向を得ている。

各地域で設置が検討されているカジノについて、それぞれの認知度、利用意向度を聞いてみました。

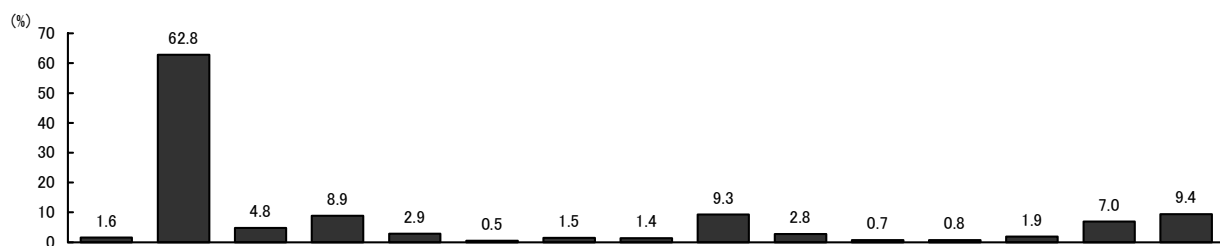
その結果、お台場が認知度62.8%、利用意向度40.5%と他に比べて高いスコアとなりました。東京という地の利を活かし、関東地区だけでなく全国的にも支持を得ている点が高評価の要因となっています。

一方、他の検討地でもそれぞれの地域内の対象者における評価を見た場合、高い評価を得ている地区もあります。近畿地区在住者での利用意向では「関空周辺」が38.7%、中部地区在住者では「中部国際空港周辺」が30.4%となっており、今後こうした地元の支持をどれだけ高めていくことができるかが重要になっていくと思われます。

### 認知度

Q. 【現在、以下のような場所でカジノ設置の動きがあります。】

これらの場所の中で、カジノ設置が検討されていることを知っている場所をすべてお答えください。

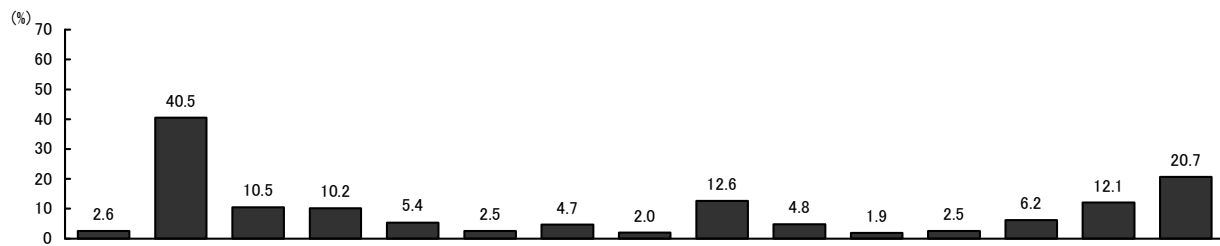


	秋(秋田空港周辺)	お(お台場(東京都))	京(神奈川県)	熱(静岡県)	中(愛知県)	岐(岐阜県)	鳥(三重県)	珠(石川県)	関(大阪府)	堺(大阪府)	和(和歌山県)	香(香川県)	別(大分県)	シ(宮崎県)	沖(沖縄県)
合計	1.6	62.8	4.8	8.9	2.9	0.5	1.5	1.4	9.3	2.8	0.7	0.8	1.9	7.0	9.4
エリア															
北海道	1.1	61.9	4.2	5.5	2.3	0.5	0.6	0.5	4.7	1.5	0.3	0.7	0.4	5.4	5.5
東北	5.8	61.7	7.7	8.3	0.9	1.0	2.2	1.3	6.0	2.5	1.0	0.4	1.1	6.3	10.4
関東	1.7	72.6	6.1	10.4	0.7	0.2	0.5	0.7	4.6	1.1	0.1	0.3	0.9	6.2	9.7
北陸	3.3	54.0	5.5	5.8	1.2	0.8	0.6	16.6	4.2	0.9	0.4	0.4	0.8	4.0	9.8
中部	0.9	61.2	3.1	17.9	14.7	1.2	5.8	1.5	5.4	0.9	0.7	0.1	1.5	5.2	6.2
近畿	0.9	55.7	4.1	4.9	1.4	0.4	1.3	0.4	29.3	10.1	2.2	0.9	1.2	4.5	8.5
中国	0.9	56.6	3.9	3.8	0.6	0.3	0.6	0.6	7.0	1.3	0.3	2.7	2.0	5.3	5.6
四国	0.7	62.1	5.5	4.6	2.0	0.2	1.3	0.2	11.4	3.5	0.7	7.3	1.2	6.3	8.0
九州	0.7	54.2	2.6	6.0	0.4	-	0.4	0.5	5.2	1.4	0.2	0.3	8.2	18.3	17.0

### 利用意向度

Q. 【現在、以下のような場所でカジノ設置の動きがあります。】

それぞれの場所にカジノができたとして、あなたが行きたいと思う場所はどこですか、全てお答えください。



	秋(秋田空港周辺)	お(お台場(東京都))	京(神奈川県)	熱(静岡県)	中(愛知県)	岐(岐阜県)	鳥(三重県)	珠(石川県)	関(大阪府)	堺(大阪府)	和(和歌山県)	香(香川県)	別(大分県)	シ(宮崎県)	沖(沖縄県)
合計	2.6	40.5	10.5	10.2	5.4	2.5	4.7	2.0	12.6	4.8	1.9	2.5	6.2	12.1	20.7
エリア															
北海道	1.6	39.6	8.2	6.1	1.8	0.3	1.6	0.8	8.8	1.3	0.5	0.9	1.9	11.1	20.6
東北	21.7	47.4	12.4	7.3	0.6	0.5	1.2	0.2	5.8	1.7	0.7	-	2.1	7.4	17.4
関東	1.3	57.4	19.8	17.4	1.5	0.4	1.6	1.6	4.4	1.8	0.7	0.5	3.0	11.1	21.8
北陸	1.9	35.9	8.7	6.7	4.1	3.6	1.9	23.4	9.0	2.4	0.6	0.8	4.1	8.0	23.5
中部	1.2	32.7	6.0	14.0	30.4	12.7	15.3	1.7	7.4	1.8	1.9	0.2	2.8	7.3	15.0
近畿	0.9	21.8	2.6	5.3	1.3	1.9	9.2	1.0	38.7	16.8	6.5	2.0	3.6	9.2	19.2
中国	0.7	35.9	8.1	3.7	0.3	0.8	2.6	0.3	17.5	7.9	1.1	13.8	15.7	15.7	23.3
四国	0.8	37.1	4.4	3.4	0.8	0.9	1.6	-	20.0	7.0	1.2	32.9	9.6	10.6	21.1
九州	0.5	28.3	3.5	1.6	1.0	0.4	0.7	0.5	8.1	1.6	0.9	0.5	23.6	28.9	26.1

■各エリアは、来場者特性によって4つのタイプに分けられる。

各エリアごとの来場意向率と人口をもとに、各エリア来場者の居住エリア別の構成比をみたところ以下の結果となりました。

例えばお台場地区は、関東地区からの来場者が47.2%、その他のエリアからが52.8%と見こまれます。この結果から、どのようなエリアから来場者を見こむことができるかによって、日本のカジノは4つのタイプに分けて考えることができるといえます。

今後各地で議論を進めるにあたって、タイプ別の特性をふまえた検討が求められそうです。

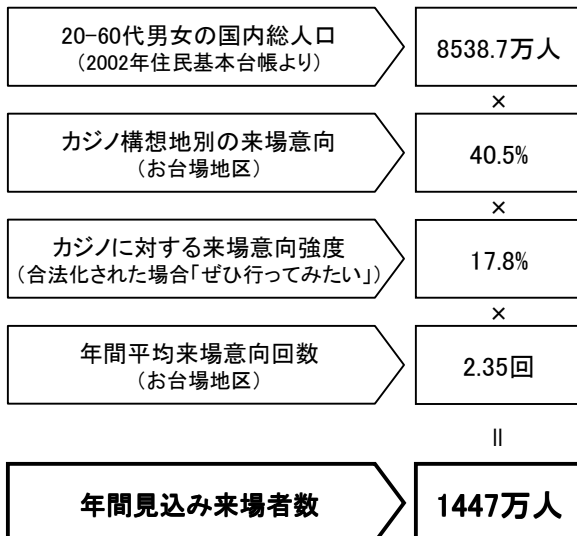
- 全国区型： 全国各地からの集客を見込むことができる（東京お台場）
- 東京奥座敷型： 地元の需要に加え、東京圏からの需要を見込める（熱海）
- リゾート型： 東京からの需要が、地元圏を上回ることが見込める（シーガイア・沖縄）
- 地元密着型： 地元からの需要が中心（その他のエリア）

	居住エリア								
	北海道	東北	関東	北陸	中部	近畿	中国	四国	九州
秋田空港周辺	2.8	61.6	16.2	3.1	6.1	5.5	1.6	1.0	2.0
お台場	4.4	8.7	47.2	3.8	11.2	8.9	5.2	2.9	7.8
京浜臨海エリア	3.5	8.7	62.7	3.5	7.9	4.0	4.5	1.3	3.7
熱海	2.7	5.3	56.8	2.8	19.0	8.6	2.1	1.0	1.7
中部国際空港周辺	1.5	0.8	9.1	3.3	78.5	3.9	0.3	0.5	2.2
岐阜県	0.5	1.5	5.3	6.1	69.8	12.2	1.8	1.1	1.7
鳥羽	1.5	1.9	11.4	1.7	45.0	32.3	3.3	1.1	1.7
珠洲	1.7	0.6	25.9	48.5	11.3	8.4	0.9	-	2.7
関西国際空港周辺	3.1	3.4	11.5	3.0	8.2	50.6	8.1	5.0	7.2
堺	1.2	2.7	12.7	2.1	5.2	58.0	9.7	4.6	3.8
和歌山県	1.1	2.8	12.8	1.3	14.1	57.1	3.4	2.0	5.4
香川県	1.7	-	6.9	1.4	1.0	13.0	32.3	41.5	2.2
別府	1.4	2.4	15.9	2.8	6.3	9.6	14.7	4.8	42.1
シーガイア	4.1	4.5	30.5	2.8	8.4	12.6	7.6	2.8	26.6
沖縄県	4.5	6.2	35.1	4.8	10.1	15.4	6.6	3.2	14.1

横100%

■エリア別の来場者数は、お台場エリアの場合、年間1447万人の見込み。

これらの結果を元に、東京お台場エリアでの年間来場者数の試算を行ないました。カジノについてはまだ詳細が明らかになっておらず、また生活者の間でのイメージも漠然としたものであるため誤差を含むことが想定されますが、今後の議論の一材料として試算してみたものです。試算にあたっては、20-60代の国内人口をベースとして、お台場のカジノへの来場意向度、来場意向強度（「実際」の来場者数に近い推計となるよう「強度の来場意向者」のみカウント）、年間来場意向回数をもとにしています。



(参考)

**他の施設の来場客数**

**東京ディズニーリゾートの入園者**

(ディズニーランド・シーの合算)  
2003年度見込み 2500万人  
(オリエンタルランドホームページより)

**丸ビルの来場者**

開業後1年間での実績 2400万人  
(03.9.4三菱地所発表)

**臨海副都心全体の来訪者**

H14年 3780万人  
(東京都港湾局ホームページより)